

会 議 録

1 会議名

令和4年度 第1回高田区地域協議会分科会（第1分科会）

2 議題

（1）協議（公開・非公開の別）

高田区の活性化について（公開）

3 開催日時

令和4年4月4日（月）午後6時30分から午後7時37分まで

4 開催場所

福祉交流プラザ 第1会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

- ・委 員：浦壁澄子、小川善司、高野恒男（副会長）、富田晃、本城文夫（会長）、
村田秀夫（欠席：小嶋清介、松倉康雄、宮崎陽）
- ・事務局：南部まちづくりセンター 滝澤センター長

8 発言の内容

—次第3 協議 高田区の活性化について—

【富田座長】

第1回第1分科会を開催する。

今日の議題として、「若者の地域参画」関係者へのヒアリング結果の資料を配布している。まず、それについて説明する。7月に向けてどのようにまとめるかについても、時間があれば協議したい。

- ・進め方について、意見がある委員の発言を求めるがなし。

意見がないので進める。小川副座長に書記をお願いします。

資料の1番、くびき野NPOサポートセンターにおいて、どのような若者がいるかについていろいろ聞いた。

2番、くらしのシルエット展を通じてお会いした方から非常に面白いコメントがあり、「町家を今の状態より悪化しないように支援していきたい。町家を活性化したいとは思っていない」「人口減少とか高齢化になるわけだから、今の町家をそのまま維持したい」というコメントがあった。

3番の方は高田区ではないが、町家を複数購入して活用されている。

4番は雁木のまち再生の方。

5番はまちの活性化に取り組んでいる上越市の企画政策課の丸山氏よりいろいろ話を伺った。

6番と8番は打田氏で、キナイヤプロジェクトについてヒアリングした。1月の研修で講師をしていただいた。

7番の藤村氏。この方も上越市に勤めてる方で、キナイヤプロジェクトのメンバーであり、キナイヤプロジェクトについて伺い、熱意のある方だった。

9番は平井氏、杉田氏で上越市の都市整備課の方々。松倉委員とまちなか居住推進事業ということで、いろいろ進めている。

10番は今回の町家見学会の見学先の方である。コーヒー焙煎所がオープンした。また、コワーキングスペースを提供することが新鮮に感じた。

11番も今回の町家見学会の見学先の方。

12番は竹内氏、畑山氏。上越市産業政策課の中心市街地活性化推進室の方々。

13番は介護をしている安楽氏。頸城区、また仲町2丁目でも空き家を借りて介護事業をしており、そこで会い、いろいろ聞き意見交換をお願いしたいと話したところ、了解していただいた。

14番の寺尾氏は安楽氏から紹介された。NPO法人ギフテッドを設立し、去年から福祉交流プラザの1階で障害児の介護をしている。

15番の方はスケートボード、BMXなどを教えている。

16番の方は中心市街地活性化プログラムに関わっており、30～40代の商店街の人達と活動をしている。

17番はボルダリングの施設の方。

18番の方は焼き芋屋をオープンした。

以上がこの6～7か月間でヒアリングした一覧である。

PRはインターネットを活用し、多くの方はホームページがあり、それ以外でもフェイスブックとかツイッターを利用されている。資金は、調べた結果、市がいろいろと補助金を出している。また、クラウドファンディングを利用している人もいる。深掘りの必要性について、二つ感じたことがある。一つ目は、中心となる人、動かす人が必要であること。現状、これが足りないのかなと思った。二つ目は、今の生活安定により、これから10年後20年後はどうなるかということ想定し、次の世代に残すことをしないといけないとの思いを持つ住民がほとんどいないことである。

意見のある委員の発言を求める。

【本城会長】

まとめの時期が来るわけだから、その前に行政と話し合いの場を作ってもらってある程度提言できるようにまとめられればよいと思う。

私が一番危惧しているのは、地域活動支援事業がなくなる。来年度から、地域活動支援事業を活用してきた団体が、しぼんでしまう懸念があると思う。

【村田委員】

最近のコロナとか、経済的な事情とかで、市民の皆さんがいろいろな困難を新たに抱えてる中で、どうしても人と人とが出会えず、新たな困難が生じている。しかし、行政の担当部署の方も全体の状況を把握しながら将来的なビジョンを持って取り組んでいる。横串による繋がりや、新たな発展のきっかけを見出していく。富田座長や本城会長が提案された方向で進めていきたい。

【高野副会長】

ヒアリングされ、ご苦労様。このヒアリングした中で、何かこうして欲しいとか何か問題点とかあれば、話を聞いて応援したい。あとは若者もやっているが、やはり住民もそこに参加することが必要。私達もいろいろやな活動をしているが、なかなか住民の動きが鈍いというか、何でもっと参加して来ないのか、いつもそう思っている。

【浦壁委員】

これだけのヒアリングをされて本当にご苦勞様。しかしながら、視点が広がり過ぎている感じがするので、地域協議会としてどのようにまとめていくのかを考えることが必要だと思う。

【本城会長】

大体方向性みたいなものが出てまとまって、今回我々の分科会として努力してきた、現場を見たり、いろいろな意見を聞いたりする機会があったことから、行政からアドバイスを受ける等し、そして地域で何ができるのかをまとめることでいかがか。また、自発的に若者が動き始めているということを我々が大切に育てて、せっかくやっている人達がしぼんで、やめてしまうことがないようにしたい。

【富田座長】

介護・スポーツ関係のヒアリングについて、先ほどの安樂氏は仲町2丁目に空き家を借りて事業をしている。彼に話をしたら、ぜひやっていることの紹介をしたいと言われ、また、その時に寺尾氏という方がいるとの話があった。寺尾氏は上越では初めてのことをやっている。この二人の話を聞く研修会を5月9日に開くことを提案したい。介護関係の現状と課題を聞きたいと思う。

スポーツ関係の15番の方は、事務局ともいろいろ協議したが、活動場所が高田区ではないので扱えないという結論となった。

・4月18日の地域協議会において、5月9日に安樂氏と寺尾氏の話を聞く研修会の実施を諮ることについて諮り、委員の了承を得る。

【高野副会長】

本人が話をしたいと言うのであれば、聞いた上で、応援できるところに繋がればよいと思う。

【富田座長】

そのように提案をして5月は進めたいと思う。それを経てある程度のまとめをして、自主的審議事項として地域協議会で意見書等をつくって提案する。

【本城会長】

そんなかしこまったものでなくて、私達はこういう議論を積み上げたというものをまとめて、市の担当課の責任者、課長か部長へ渡すことができればよいのではないかな。

【富田座長】

そのようなまとめ方をすること等について、分科会として報告する。

- ・閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 南部まちづくりセンター

TEL: 0 2 5-5 2 2-8 8 3 1 (直通)

E-mail: nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせて御覧ください。